

学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の学力の充実
評価指標	・モジュール型授業のチェックテスト（基礎学力診断テスト）における学力の向上 ・学力生活実態調査・英語学力調査における学力の向上
計画名	モジュメディアステーション（「新モジュール型授業」と「志学活性事業」にむけて）

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標		1 学力向上と進路実現 (1) ウ 平成25年度入学生からモジュール型授業「学習基礎」（朝学習）を実施し、「確かな学力」を身につけさせる。学力生活実態調査の正解率60%以上をめざす。 (2) 「充実した授業」で「授業アンケート」の満足度をアップさせる。 (3) 入試結果の実績維持・伸長をめざす。 2 志学の推進 (1) 志をもったよき社会人として自立と創造する力を養うための、志学・総合学習実施計画を確立する。	
事業目標		「見る」「聴く」等、感覚から得る情報を「書く」「話す」「ひく」「かける」「わる」という動作に変換する基礎的な学習活動は脳を活性化し、集中力を高める。情報をモニターやスピーカーで一斉に配信し、朝の10分で効率よく学習活動を繰り返す。もって、「学力生活実態調査の正解率を平成27年度に70%以上を維持する」に変更。また、新たに「英語学力調査のスコアを27年度に440以上にする」を付加する。 授業や志学でのプレゼンテーション学習やキャリア教育・メディア教育等でモニターを活用する。	
取組みの概要	整備する 設備・物品	電子黒板機能付プロジェクター 通信システム（送信、受信）	
	取組内容	前年度	・新学習指導要領実施に向け、1単位増とその具体案（朝学習）作成。事業計画と導入に向けて先進的取組校の調査・視察・分析。全教員への伝達講習や研修実施。教務Gとカリキュラム研究室との連携。 ・志学を推進する実践…ボランティア学習、キャリア学習、ライフプラン作成
		初年度	・1年生から教科「総合」科目「学習基礎」（モジュール型朝学習）を実施。英語ディクテーション1学期51回、2学期67回、3学期33回、合計151回の毎朝10分間学習（1単位認定）を実施。現行のプリントとラジカセ使用の状態から、今回整備する設備、機器を利用しての「見る、聴く、書く、話す」という感覚機能を使うトレーニングを繰り返す徹底した学習指導を実施。 ・志学指導計画に基づいてキャリア学習、プレゼンテーション学習を授業や総合学習の中で実施。
		2年目	・朝学習…1年は初年度と同様に実施。2年は英語ディクテーションの他に天声人語・詩・古典等の書写、音読、暗唱、百ます計算等を映像信号による一斉学習で実施。 ・志学…プレゼンテーションスキルやコミュニケーションスキルを習得させる授業を積極的に取り入れる。
		3年目	・朝学習…1年は初年度と同様に実施。2年は2年目と同様に実施。3年は英語ディクテーションの他に、返り読みをしない速読演習を実施。負荷をかけつつ、集中して内容を把握する力をつける。キャリア教育ガイダンス、人権教育学習等を組み込む。 ・志学…プレゼンテーション授業を積極的に取り入れてスキルを習得させる。
取組みの 主担・実施者	①朝学習推進委員会…朝学習 ②志学・総合学習推進委員会…プレゼンテーション、キャリア教育講演 ③人権教育推進委員会…人権教育学習 各委員長は教頭又は首席が担当しており、企画経営会議や関係部署との連携を密に行い、企画立案。モジュール型朝学習は全担任が実施。		
成果と 評価の 検証 方法	初年度	・朝学習の成果を検証…学期2回（前半・後半）のチェックテスト（基礎学力診断テスト）正誤分布表により、正解率の増加。 ・プレゼンテーション学習…授業での発表学習とその評価（発表方法、プレゼン指導等の検証）	
	2年目	・朝学習の成果を検証…学期2回（前半・後半）のチェックテスト（基礎学力診断テスト）正誤分布表により、正解率の増加。 ・学力生活実態調査の正解率65%以上にする。英語学力調査のスコアを400以上（2年次）に引き上げる。 ・プレゼンテーション学習…初年度に同じ	
	3年目	・朝学習の成果を検証…学期2回（前半・後半）のチェックテスト（基礎学力診断テスト）正誤分布表により、正解率の増加。 ・学力生活実態調査の正解率70%以上にする。英語学力調査のスコアを440以上（2年次）に引き上げる。 ・プレゼンテーション学習…初年度に同じ	
他事業での支援内容			

3. 事業費

事業費総額	4,980,204	円
-------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。（見積に基づく積算 実勢価格に基づく積算レ ）

	科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額	
積算内訳	1 報償費	1					
		2					
		3					
							小計
	2 旅費	1					
		2					
		3					
							小計
	3 消耗需用費	1					
		2					
		3					
							小計
	4 維持需用費	1					
		2					
		3					
							小計
	5 委託料	1					
		2					
		3					
							小計
	6 使用料及び賃借料	1					
		2					
		3					
							小計
7 備品購入費	1	電子黒板機能付プロジェクター		¥164,705	15	¥2,470,575	
	2	壁面取付金具		¥24,705	15	¥370,575	
	3	インフォマネジメントソフト		¥29,647	15	¥444,705	
	4	インフォマネジメントソフト		¥296,470	1	¥296,470	
	5	HUB 16ポート		¥32,117	1	¥32,117	
	6	HUB 8ポート		¥11,364	2	¥22,728	
	7	プロジェクター取り付け		¥1,105,882	1	¥1,105,882	
	8					(消費税) ¥237,152	
						小計	4,980,204
8 工事請負費	1						
	2						
	3					(消費税)	
						小計	0
					合計	4,980,204	